

種いも専用ほ場を設置しましょう！

基腐病対策の第一歩は、

【令和7年産対策】

健全な種いも・健全苗の生産です。

R6年産用の種いもでは、種いも生産ほ場での基腐病の発生や、収穫時の傷による貯蔵中の腐敗が見られました。

R7年産に向けては、病害感染リスクが低い「種いも専用ほ場」を選定し、収穫作業は、いもが傷つかないように丁寧に行いましょう。

1 種いも専用ほ場の条件

- ☆ 前作で病害発生が無く、排水が良好。
例1：さつまいもを2年以上栽培していないほ場。
例2：前年に水稻を栽培(湛水)した乾田(排水対策は必須)。
- ☆ 周辺ほ場から雨水等による病原菌流入のおそれがない。

2 種いも専用ほ場の栽培管理の徹底

- ☆ 殺菌効果のある剤（バスアミド微粒剤等）を用いて、必ずビニールで全面被覆して土壤消毒を実施。
- ☆ バイオ苗の植え付け。
- ☆ 薬剤防除は、通常の栽培と同様に入念に行う。



植付後の散布事例		
1回目	2回目	3回目
(植付から21日後) フロンサイドSC (300L/10a)	(1回目から14日後) フロンサイドSC (300L/10a)	(2回目から30日後) トリフミン水和剤 (300L/10a)

3 種いもの収穫方法

- ☆ 生育日数の目安は、120日～130日。
- ☆ 収穫は畑がよく乾いた晴天日行い、傷（特に打ち傷）をつけないよう、浮かし掘機やコンベア型掘取機等で丁寧に収穫する。
- ☆ 種いもには、株単位で腐敗や病虫害の無い健全ないもを選別する。

4 種いもの貯蔵方法

- ☆ 種いもは、収穫後に「蒸熱消毒」を実施。
- ☆ 貯蔵中の温度は、13℃を基準に11℃～15℃とする。但し、貯蔵性が悪いコガネセンガンなどは14℃～15℃とする。
- ☆ 貯蔵中の湿度は、85%～95%とする。湿度が低いと、いもの先端部の萎れや腐敗の原因となるので注意する。